

令和5年度京田辺市障害者基本計画等策定委員会（第3回）議事録【要旨】

＊第7期京田辺市障害福祉計画・第3期京田辺市障害児福祉計画（案）の策定に係るパブリックコメント結果について

○質問・意見なし

＊第7期京田辺市障害福祉計画・第3期京田辺市障害児福祉計画最終案について

○質問・意見

【委員】「卒業後の進路」について、就職の割合が高くなっている要因と、「多様な社会参加への支援」について、京都府や山城地域の障害者雇用の状況や課題が分かれば教えていただきたい。また、「生活支援の充実」について、家族や保護者が疲弊しているケースや「親なき後」に関する計画の推進が大切ではないか。

（事務局）就職の割合が増えた要因は、八幡支援学校に就労のコースが増えたことや企業の実習先の開拓が進み、うまく就労に結びついたことではないかと考える。京都府等の状況は把握できていないが、自立支援協議会を軸にハローワークや商工会の協力を得ながら雇用率を上げる取組みを進めている。

また、「親なき後」については、講演会や保護者の交流会を行うなど不安を取り除く取組みを今後も継続していく。

【委員】「居宅介護」の数値について、令和4年度は160人、令和5年度の見込みが148人と減っているが、時間は3,713時間から3,824時間に増えているのはなぜか。「児童発達支援」の数値について。令和4年度は229人、令和5年度の見込みが193人、令和6年度が195人である。利用日数は1,158、1,203と増えているが、令和6年度の見込みが1,131と減っているのはなぜか。医療的ケア児に対する支援体制の強化について、具体的な内容を聞きたい。

（事務局）「居宅介護」の数値について、計画値は実績値の平均値を取ることによって、このような数値になっている。また、重度障がいの子どもがいる場合、親に対する支援に入ることによって時間が増加していることも考えられる。

「児童発達支援」については、令和4年度はコロナの影響でかなり増えているが、実績値の平均値を取ると、コロナが落ち着き、令和5年度から令和6年度以降はそれほど数値が変わらないと見込んでいる。

医療的ケア児の支援については、次年度以降の京都府の計画の中で、医療的ケアコーディネーターの役割を明確にし、連携が取れる体制を構築するとされている。本市でも今年度「京田辺市医療的ケア児等支援連絡協議会」

を立ち上げ、その中でコーディネーターとの連携を進めていこうと考えている。

【委員】10月時点の素案から変更された数値で整合性が取れていない部分について聞きたい。「居宅介護」の人数が増えているが、時間は減っている。「同行援護」は令和6年、7年、8年の人数が29、31、33人だったが、21、22、23人に対して時間が増えている。「生活介護」についても令和6年、7年、8年の人数が134、135、136人だったが、今回1人ずつ増えているが利用日数は変わっていない。「就労移行」と「就労A、B」も人数が増え、利用日数が減っている。「日常生活用具給付等事業」の「在宅療養等支援用具」の令和6、7、8年が32、38、45件だったが、10、10、10件と大幅に減っている。「排泄管理支援」も2,017、2,287、2,593件だったが1,413件で横ばいになっている。「手話奉仕員養成研修事業」は20、20、20人だったのが、40、40、40人と増えている。「日中一時支援事業」の実利用人数の見込みが令和6年は157人で6,626時間の計画だったが、80人で5,500時間となっている。

(事務局)福祉サービスについては、10月以降、各担当者が数値を見直した結果、今回の計画値となっている。「手話奉仕員養成研修事業」は前回の数値が間違っていた。前期後期各20人定員のため40名に修正した。

【委員】日常生活用具の見込件数が減っているが、利用者に支障は出ないか。

(事務局)特に支障は出ない。

\*第2期京田辺市“生きる”支援計画—京田辺市自殺対策計画—(案)の策定に係るパブリックコメント結果について

○質問・意見なし

\*第2期京田辺市“生きる”支援計画—京田辺市自殺対策計画—最終案について

【委員】「4.持続可能な開発目標(SDGs)について」に「誰一人として取り残さない」という包括的な視点のもと」とあり、「目標4.質の高い教育をみんなに」では「すべての人に包摂的」とある。「包摂的」と「包括的」の捉え方は違うと思うが、「包摂的」とはどのようなことなのか聞きたい。

【委員長】「インクルーシブ」の訳は「包括」ではなく、「包摂」を使うことが多い。「包括的な教育」は教える内容に及び、「包摂的な教育」は従来分離されてきた人たちをどんどん入れる印象がある。

(事務局)「包括的」とは全体的に網羅するという意味で、「包摂的」はグループの一員として取り入れるという意味合いがある。

【委員】「包摂的」の意図を押すのであれば、「包摂的」に直すほうが良いので

はないか。

(事務局) 検討する。

【委員】大学生のアンケート調査結果が女子のみの結果となっているが、男子大学生の回答はなかったのか。

(事務局) 答えてくれたのは女子だけだった。

【委員長】企業のアンケートの返答率が3%だった。回収率を増やすことは課題だと思う。結果が偏ってしまう可能性がある。

(事務局) アンケートは同志社大学、同志社女子大学に配布したが、女子生徒の割合が母数として多かったことが要因かもしれない。

【委員】「2.重点施策」の「各主体に求める役割」に「学校の授業等を活用して子どもに対する啓発に取り組みます」とあるが、どのように取り組むのか。

(事務局) 教育委員会へのヒアリングで、異なる年齢の子どもと一緒に活動させることで、学年の大きい子どもがお兄さんお姉さんとして行動することで、自己肯定感を高める取組みを行っているとのことだった。

【委員】子どもの時に教えたことは大きくなっても覚えているので、ぜひ行ってほしい。